

別記様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会（第3回）
開催日時	平成14年 9月 25日 午後6時00分から8時00分まで
開催場所	田無庁舎 1階 102会議室
出席者	（委員）高島会長、吉野副会長、石井委員、桑原委員、牧原委員、保谷委員、都築委員 （事務局）玉木係長、寺畑文化財保護専門員、守矢主事
議 題	（1）指定基準について （2）その他
会議資料	・東京都指定文化財指定基準・国分寺市文化財指定基準・青梅市文化財指定基準・練馬区「文化財保護の手引き抜粋（登録・指定の流れ）」（都築委員より） ・下野谷遺跡東伏見三丁目5番地先地点試掘調査・下柳沢遺跡東伏見三丁目630番地の8地点試掘調査・中荒屋敷遺跡下保谷三丁目948番地の3地点立会調査・西東京市及び東久留米市における同一絵柄の絵馬と同一絵師の絵馬について
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
発言者名	発言内容
高島会長	開会宣言、本日の議題の説明。 会議録について変更はあったか。
守矢主事	なかった。
高島会長	では、事務局の報告を求める。
玉木係長	7月1日付で人事移動があり、谷内課長が移動し新たに加地課長が社会教育課長となった。本日は、加地課長は病欠のため欠席する。また、社会教育主事の小笠原が異動になり、社会教育課は1人減となり、みなさまにご迷惑がかかることをご了承いただきたい。 現在、議会の9月定例会が開かれているが、一般質問等社会教育課関係についてはなかった。また、10月には決算委員会、11月には定例会が開かれる。12月には市議会議員選挙があり、来年度予算については、通年よりはやく予算要求・審査の段階に入っていく。本日、予算要求していくなかで、予算措置してほしいという要望があればご意見いただきたい。 今年も文化財ウイークが開催されるが、西東京市企画事業として11月5日に講演会、11月23日から28日にこもれびホールにて、「出前企画展」を開催する。また、学校週5日制に伴い、生涯学習部週5日制対応事業を行っており、そ

	<p>の中で11月9日に小中学生のための文化財教室を東伏見小学校にて開催する。</p> <p>また、来年度、現在のけやき小学校（旧西原第二小学校）に郷土資料室を移転し、埋蔵文化財の遺物等を集中管理するという計画がある。来年の9月にけやき小学校が移転を完了する予定になっており、平成16年の夏頃、郷土資料室が開設できるのではないかと。これに伴い、東伏見小学校郷土資料室、向台公園内の西東京市郷土資料室も現在のけやき小学校に移転することになる。社会教育課に割り当てられた教室等は、1階・2階の部分が中心である。東伏見小学校郷土資料室の場合、春休み、夏休みの期間のみ公開していたが、移転した場合、もっと市民の方々に公開できるようになるのではないかと。</p>
高島会長	何か質問はあるか。
都築委員	講演会の講師はだれなのか。
寺畑専門員	「縄文時代の集落 環状集落を中心としてー」というテーマで國學院大學講師の谷口さんをお願いした。
吉野副会長	文化財教室についての講師はだれなのか。
玉木係長	寺畑文化財保護専門員が行う。
高島会長	課長の病状回復を願い、また社会教育課の職員補充を希望する。議題に移るが、事務局の説明を求める。
玉木係長	資料として、東京都・国分寺市・青梅市の文化財指定基準を取り寄せ、この議題の参考にさせていただきすすめていただきたい。 また、3月議会で取り上げられた下野谷遺跡にある国有地については、市長の「買う」という意向に沿って準備をしているところであるが、年内に遺跡公園の調査に行こうとおもっている。場所は、審議委員のみなさまに助言していただきたい。
高島会長	旧保谷市には指定基準はなかったが、旧田無市ではあったのか。
守矢主事	旧田無市ではあった。
吉野副会長	西東京市文化財保護条例の中に、『「文化財」とは次に掲げるものをいう』というものはあるが、細かい指定基準はないのでつくっていくということか。
玉木係長	そうである。
石井委員	事務局の方で、指定基準の案をつくっていただき、審議会にかけてはどうか。
都築委員	指定にするか、登録文化財制度にするかを審議してもいいのではないかと。

石井委員	国もすでに、登録文化財を中心として動いている。
都築委員	本日、練馬区の「文化財保護の手引き」の一部抜粋した資料をお配りした。
保谷委員	東京都文化財保護条例等の法令は変更になってないのか。
守矢主事	変更の通知はない。
石井委員	文化遺産と文化財とでは、東京都の管轄（部署）がちがうとおもうのだが。また、歴史財団は知事部局、文化財団は教育委員会が管轄している。登録文化財については、歴史財団が管轄しているとおもうが、事務局の方で確認していただきたい。
玉木係長	確認する。
高島会長	旧田無市で指定されているレベルの文化財は、旧保谷市では指定されていない部分がある。
石井委員	5年計画ぐらいで、文化財の実態調査を行わなくてはいけないのではないのか。例えば、旧保谷市では文化財マップがあったが、合併して新市になり、文化財マップを作成するという前提で実態調査を行い、整理していくとよいのではないのか。
玉木係長	文化財マップについては、今年度予算要求したが却下になったのだが、来年度に向けては、強く要求していきたい。
高島会長	練馬区の「文化財保護の手引き」の資料について、都築委員、ご説明願いたい。
都築委員	図（２）がわかりやすいとおもうが、簡略すると、教育委員会が調査したものを審議会に諮問をし、審議会の中で答申を検討するという流れである。また、練馬区では、推進委員制度があり、各地区に推進委員がおり、推進委員が巡回パトロールをしている。例えば、庚申塔の破損状況や所有者とのコミュニケーションをはかるなど、地域密着型の推進制度である。
石井委員	練馬区では、所有者からお借りし展示する場合、どのように展示しているのか。
都築委員	郷土資料室と仮設収蔵庫があり、民具・考古資料などを展示しており、小学生などが来館し学習している。また、空き教室などを利用し、臨時展示会を開催している。資料館や博物館はないが、文化財講座等活発に行っている。
高島会長	練馬区では、指定文化財と登録文化財どちらが多いか。
都築委員	登録文化財が多い。136件登録文化財がある。

保谷委員	登録文化財になると、優遇措置はあるのか。
都築委員	国の補助、固定資産税等の軽減がある。
石井委員	練馬区の推進委員の制度は非常によい。
保谷委員	地方史研究会の方々に市に協力していただき、練馬区のような地域密着型の文化財行政を行うこともよいのではないか。行政が何をやっているのかもわかってくるのではないか。
桑原委員	博物館などがなければ、こちらの方から出て行って、自然観察会などを開催してみてもどうか。こういうことの積み重ねで、市民の方々に文化財に関心をもっていただきたい。
牧原委員	登録文化財を導入するにあたり、法令等などの大きなものを初めに議論する必要があるのではないか。旧田無市審議会では文化財保護行政のあり方について答申を出しているのだから、これをもとに議論していく必要があるのではないか。
吉野副会長	そのことに関しては、新市の審議会で確認しており、指定基準と登録文化財を別に議論した方がよいのではないか。また、行政側から審議会に問題提起していただき審議するというシステムでよいのではないか。
守矢主事	田無神社の参集殿が、東京都に登録文化財の申請を行う予定であり、稲葉先生に所見を宮司さんが依頼している段階である。
高島会長	指定基準については、事務局に作成していただき審議会に提案していただくこととする。登録文化財制度についても推進していただきたい。
保谷委員	西東京市では、小学校の授業に教材を提供しているのか。
玉木係長	授業の一貫として、西東京市郷土資料室を利用しており、民具等も学校に展示している学校もある。
吉野副会長	田無社会科研究会は、副読本を実費で出版し、各学校の希望のある先生方に分けている。このような方々と旧西原第二小学校利用計画にある施設がどういうふうにつながりができるか興味がある。
高島会長	来年度予算・旧西原第二小学校利用計画について要望があるか。
牧原委員	下田家役宅の梁の部分の補修工事は予算措置するのか。
玉木係長	予算措置はむずかしいとおもわれる。稗倉の件についても、3月議会にて「主旨採択」になっており、復元するという見通しはあるが、いつになるかまだわからない状態である。

石井委員	小平市の稗倉は、何か進展はあったのか。
玉木係長	小平市民から寄附されたものなので、小平市の判断で西東京市に譲渡は簡単にはいかないのが時間が必要である。また、谷戸の稗倉であるが、現地に確認に行き、奥様が対応していただき復元についてお話したところ、私は初めて聞くが、主人は知っているかもということであった。ここの稗倉は倉庫として使われているだけであった。
石井委員	旧西原第二小学校には、人員は確保できるのか。
玉木係長	確保するつもりである。旧西原第二小学校の校舎全部が社会教育課だけではなく、福祉関係、教育相談などが入る予定である。
吉野副会長	現在の西東京市郷土資料室はどうなるのか。
玉木係長	現在の建物を利用し、茶室を利用し、文化センター的なものにするという案もある。
吉野副会長	旧西原第二小学校は4階建か。
玉木係長	3階建である。また、1階部分には給食室があるが、ここを収蔵庫にしたいのだが、けやき小学校が移転した後も給食室として利用する可能性があるもので、現在、「保留施設」となっている。
牧原委員	学校の校舎は、年金資金融資で建てられているため、教育施設しか建てられないはずなので、現状の建物は動かせない。また、事務ベースだけで決めるのではなく、郷土資料室の件に関しては、地方史研究会、社会科研究会の社会の先生などの意見を聞き、どういう理念でつくるかが問題ではないか。
玉木係長	新しい博物館・資料館を建てる場合は、外部の機関をつくり、進行していかなければならないが、今回の場合、「空き教室を利用する」という感覚である。
石井委員	将来、博物館等をつくるステップということであろう。
玉木係長	下野谷遺跡内にある国有地の活用方法の調査を行いたいため、委員の方々に活用方法として参考になる施設等を教えていただきたい。
石井委員	大規模・中規模・小規模な施設等に分けてお教えしたい。
都築委員	国有地買収の予算措置の管轄はどこなのか。
玉木係長	来年度の予算措置は無理であり、市長部局・公園緑地課が予算措置するかまだ決まっておらず、合併特例債に組みこんで行うのかも決定していない。来年度に予算編成することになるであろう。
高島会長	その他、事務局に報告はあるか。

寺畑専門員

埋蔵文化財の試掘・立会調査について報告する。まず、下野谷遺跡の東伏見三丁目5番地先地点（練馬区と西東京市の境）にて、水道局の配水本管新設工事に伴い、試掘を行った。工事は、石神井川を境に北側の下柳沢遺跡、南側の下野谷遺跡にかかっており、まず、南側のみ試掘を行った。ピットを3ヶ所設定し、試掘を行ったところ、畑の跡、現在の道路の前の道路は確認できたが、予想どおり調査対象となる遺構は発見されなかった。北側の下柳沢遺跡部分については、練馬区の調査で縄文時代早・中期の遺構・遺物がでており、また、早稲田大学グラウンド部分にも縄文時代早期の住居跡が発見されていることもあり、確実に遺構等発見されると予想され、東京都、水道局、西東京市とで協議し、今年の冬に試掘調査を行う予定である。

下柳沢遺跡の東伏見三丁目630番地の8地点（東伏見駅前南側早稲田大学プール跡地内）の試掘調査は、早稲田大学により複合施設建設が行われるに伴い、プールで破壊されていない一部分のみで試掘調査を行った。その結果、南側より近世末期から近代初頭と考えられるピットが2本発見された。より南側の早稲田大学の学生寮の部分を早稲田大学が調査したときに出たピット群の一番北端と考えられる。遺物に関しては、近世末期から近代のかわらけが出たのみで旧石器時代のものは全く出ていない。よって、遺構も南端にまばらにピットがあるだけであり、ローム層の部分も旧石器時代の遺物が出る様子はまったくなく、本調査には至らなかった。

中荒屋敷遺跡下保谷三丁目948番地の3地点（白子川南側）の立会調査であるが、建売住宅建築に伴い、基礎が非常に浅いため埋蔵文化財に影響がなかったため、本調査には至らなかった。以上3ヶ所についていずれも本調査の必要はなかった。

次に絵馬についてであるが、東久留米市の資料では、神山氷川神社（図2）と柳窪新田神明社（図3）にほぼ同じ絵柄のものがあり、どちらも「天の瓊矛」としている。この2枚は全く同じ絵柄で、絵師も同じ「證齋永斧」であり、神山氷川神社のものは紙に描かれ額装されたものである事から、柳窪新田神明社のもの下絵の可能性が指摘されている（東久留米市教育委員会1988）。田無神社のものはこれら2枚と比較すると、細かい点でいくつかの差異が認められ、大きさも違い、絵師も違うものの、同じ下絵を利用したものであろう。ただし、明治時代に活動した「證齋永斧」の絵馬の絵柄を、大正時代になって「正亭」がまねした可能性がある。

また、西東京市・東久留米市の神社にある絵馬の落款が共通しているものには、「正亭」と「證齋永斧」または「證齋」があり、これら二人の絵師は絵がいきいきとしており、規格品を大量生産する絵師よりも腕が上であることが窺える。以上のように、明治時代から昭和初期にかけての西東京市から東久留米市の地域には、歴史物の絵馬を得意とする「正亭」と「證齋永斧」の二人の絵師が活動していた。二人は活動時期こそ少しずれるが、同系統の画風であるので、おそらく両者は同じ工房の所属、場合によっては、師弟関係にあったのではないかと推察される。今後、練馬区や小平市等の他の周辺自治体の絵馬も比較する事により、どの程度の範囲で活動していたかが明らかになる。また、活動範囲が他の物流範囲と同じになるかどうか興味深い。足りない点も多々あろうが、御教示を賜りたい。

保谷委員

非常におもしろい研究である。このようなことを学校や市民の方々にも何らかの形でお伝えしてはどうか。

石井委員	成田山の小倉 博さんには色々と尋ねてみてはどうか。
高島会長	では、次回の審議会は12月3日（火）に開催することとし、これにて終了する。